

つむぎ通信 vol.6

在宅連携センター「つむぎ」

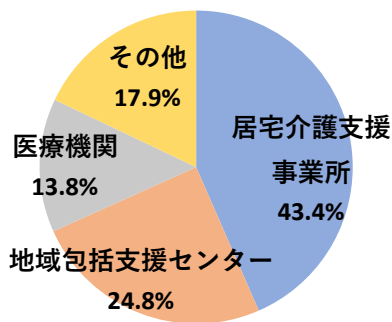
TEL/053-451-2807 FAX/053-451-2808

✉soudan@hamamatsucity-medical-co.jp

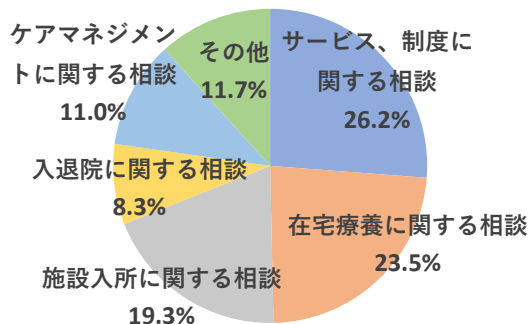
在宅連携センターつむぎは、高齢者を支える医療・介護・福祉関係者の相談窓口として、2016年度に開設しました。「つむぎ通信」は2019年度から在宅連携センターつむぎの周知と情報発信のため発行しています。バックナンバーはホームページ<https://www.hmedc.or.jp/tsumugi/information/>からご覧ください。

相談支援の実施状況（令和2年度上半期）

相談者



相談内容



相談件数は実件数145件、延件数665件です。相談者は、居宅介護支援事業所及び地域包括支援センターが65%以上を占めており、相談内容は「（医療・介護の）制度、サービスに関する相談」をはじめ「在宅療養に関する相談」や「施設入所に関する相談」など多岐にわたります。

また、つむぎでは、必要に応じてアウトリーチ（同行訪問、出張相談等）も行っています。

在宅で歯科訪問診査が受けられます

普段から口腔内の衛生を保つことは、歯科疾患の予防、オーラルフレイル、肺炎などの予防につながります。

浜松市では、歯科医院への通院が困難な在宅療養者を対象に、歯科医師が自宅訪問し、口腔内、入れ歯などの診査を行うシステムがあります。歯の不具合がある方に、診査や相談、指導を無料で行います。

つむぎでは、地域からの相談をきっかけに在宅における継続的な口腔ケアが必要な方の歯科受診の流れを整理しました。

こちらも皆様のご相談に役立てばと考えております。必要な方はご相談ください。詳しくは、<https://hamashi.com/visit/>からご覧ください。

歯科訪問診査

- ①歯科訪問診査を申し込む
- ②担当歯科医院からご本人へ連絡
- ③歯科訪問診査実施（申し込みから約1～2週間後）
- ④必要に応じて歯科訪問診療へ移行（有料）



浜松市 歯科訪問診査

お申し込み・お問い合わせ
浜松市歯の健康センター
053-453-6129



相談事例Q&A～相談内容を紹介します～



Q1 難病の患者、急性期病院から地域の病院へ変わりたい。(地域看護師)

⇒つむぎ内資料やはままつドクターマップナビ等で地域の病院を検索、確認して回答した。

併せて「神経難病療養者支援者のための情報提供ツール」を紹介した。

※「神経難病療養者支援者のための情報提供ツール」は、神経難病療養者の支援者の会が作成。神経難病療養者の病期別社会資源、相談窓口等まとめられている。浜松市ホームページに掲載。

<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/iryou/zaitaku/tasyokusyubosyuu.html>



Q2 バルンカテテルが詰まりやすく、対応に苦慮している。(ケアマネジャー)

⇒まず主治医へ相談。その上で生活面でのアドバイスを受けられる相談窓口として、排泄の地域助け合い「コンチネンスサロン」を紹介した。

※「コンチネンスサロン」は気持ちよい排泄を支え合える地域づくりを目指して活動している。

バルンカテテルの管理、おむつの悩み、ストーマケアの困りごと等相談窓口。有償ボランティアの個別支援を受けることも可能。<http://kititto.web.fc2.com/konti.html>

Q3 新型コロナウイルスの影響で介護者が解雇される見込み。現在のサービス利用料金を支払う余裕がなくなるため、要介護者のサービスを利用できなくなる。(ケアマネジャー)

⇒介護者の就労・経済的問題解決のため「浜松市生活自立相談支援センターつながり」を紹介した。

※「浜松市生活自立相談支援センターつながり」は、経済的な問題、就労など様々さまざまな要因で生活に困っている方からの相談窓口。適切な関係機関・支援窓口へ繋ぐとともに、複合的な課題を抱える方に対して支援計画を策定し、必要な関係機関と連携して課題解決に向け伴走型支援をしている。

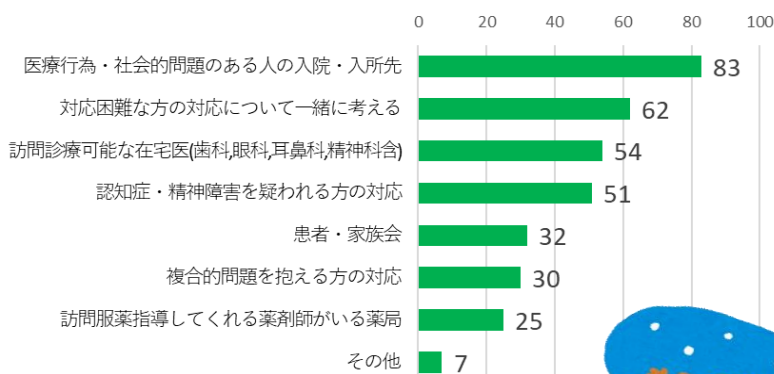
<http://www.seirei.or.jp/hq/facility/disabilities/tunagari/index.html>

居宅介護支援事業所アンケートを行いました～ご協力ありがとうございます～

6月に市内の居宅介護支援事業所214事業所に対してアンケートを行いました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございます。

113件の回答をいただき、つむぎの認知度は91%、ご存じの方の中で「相談をしたことがある」は52%でした。また、「相談で得たい情報」は右のグラフの通りです。これからも皆様のご相談に対応できるよう、聞き取り、情報の蓄積を図ります。

つむぎへの相談で得たい情報（複数回答／件）



編集後記



今年は、新型コロナウイルス感染症により例年とは違う1年となりました。寒さに向かい、また新たな問題も発生してくるかと思えます。お困りのことなどありましたら、ぜひ、つむぎにご相談いただけたらと思います。解決に向けて一緒に考えさせていただきます。時節柄皆様もご自愛ください。